

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	芸術	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	3年次
科目名	素描	履修	選択	開講	通年
教科書		副教材			

1 学習の目標

○対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を身につける。

2 学習の方法

表現と鑑賞の2つの領域について、次の内容を学習します。

- 表現 デッサン… 自己の素直な目で深く観察し、均衡、律動、比例などの美的秩序について知り、主体的に対象のイメージや空間、形体などを把握し、美しさを発見し、その形体や色彩、材質感などの表し方を工夫し、表現する能力を高めます。
- スケッチ… 対象の形態や空間、よさや美しさを端的に把握し、大まかに表すために工夫しながら表現する能力を高めます。
- 表現材料… 表現材料や用具についての特性を理解したり、表現意図に沿って表現材料や用具を様々な試用・工夫したりしながら、自分の表現技法を体得できるようにします。
- 鑑賞 制作した作品を互いに鑑賞し合います。また様々な作品の主題と表現意図、形体や色彩、材質感など描き表し方の工夫や表現材料の活用、効果等について考察します。

3 評価について

①評価の観点

知識・技能	創造的な表現活動をするために必要な造形感覚や専門的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。
主体的に学習に取り組む態度	美術文化を尊重し、主体的、創造的に美術の学習に取り組もうとする。

②評価の方法

材料 観点	ワーク シート	制作過程	作品	評価方法
知識・技能	○	○	○	知識や技能を学び活用できているか評価する。
思考・判断・表現	○	○	○	課題に対しての思考、アイデアを活かし作品を制作、発表ができているか評価する。
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	授業及び課題、ワークシート、グループワーク、発表等における主体的・協働的取り組みを評価する。

4 その他

- ・デッサンはあらゆる造形表現の基礎です。『素描』の時間は、いわゆるデッサン力を高めます。
- ・個々のもの見方、空間のとらえ方に「パースペクティブ」を活用し、破綻のないデッサンを目指します。
- ・そして、デッサンを重ねて表す力を確かにし、修正する回数を減らして、美しいトーンで陰影や質感を表現することを目指します。

5 単元の目標・評価						
単元名	スケッチ					
単元の目標	対象の形体や空間、よさや美しさを端的に把握し、大まかに表すために工夫しながら表現する基礎的な能力を高める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究・制作・相互鑑賞評価					
活動内容	モチーフの構造や全体のバランスをよく観察して制作する。所定の時間で仕上げる。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	把握した形体・空間を簡潔にかき表す技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。		感性や想像力を働かせて対象の形体や空間、よさや美しさを端的に把握し、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		造形表現の基礎となる観察力と描写力を身につけるために、主体的、創造的にスケッチに取り組もうとする。	

単元名	デッサン					
単元の目標	対象のイメージや空間、形体などを把握し、美しさを発見し、その形体や色彩、材質感などの表し方を工夫しながら表現する能力を高める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究・制作・相互鑑賞評価					
活動内容	多様な形態・材質の表現を工夫し制作する。実技演習。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	把握したイメージや空間、形体や色彩や材質感などを表す技能を身に付け、表現方法を創意工夫して表現している。		感性や想像力を働かせて対象がもつ均衡、律動、比例などの美的秩序をとらえ、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		造形表現の基礎となる観察力と描写力を身につけるために、主体的、創造的にデッサンに取り組もうとする。	

6		年間計画				
学期	月	単元	項目		予定時数	考査
前期		オリエンテーション	『素描』の学習内容を知り、見通しを持つ。		2	前期 中間 考査
	4	スケッチ	○スケッチについて知る	形体の把握 空間の把握	8	
	5		○スケッチする	静物のスケッチ 人物のスケッチ 動いている人物のスケッチ		
	6	素描、デッサン	○パースペクティブについて知る	様々な透視図法のメカニズムを理解する。	50	前期 期末 考査
			○パースペクティブを生かして描く	立方体・円柱を描く 幾何系立体模型を描く		
	7		○デッサンについて知る	均衡、律動、比例などの美的秩序について知る。 色彩、材質感の表し方について考える。 表現材料について知る。		
	8		○デッサンする	素直な目で観察し、形体や空間を把握する。 形体を的確に表現する。 色彩、材質感を工夫して描き表す。		
	9	鑑賞	○鑑賞する	互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 その回の制作から課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。 様々な作品の主題と表現意図、形体や色彩、材質感など 描き表し方の工夫について考察する。		後期 中間 考査
	10	以上を相互に関連付け、年間を通し、個の進路希望に応じて扱う。				
11						
12						
1						
2						
3			後期 期末 考査			